ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

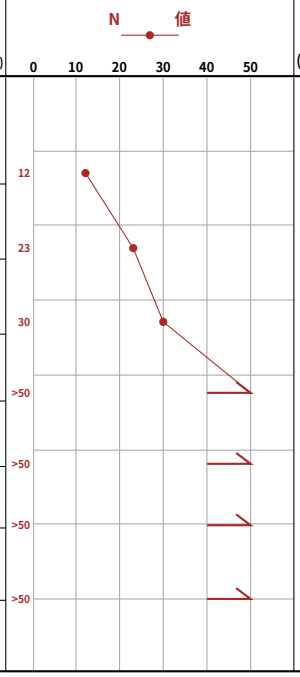
シートNO.

ボーリング名	B-2(NO.18+15,L16)		調査位置							北　緯	36 ° 19 ' 01.0000 "
発注機関	栃木県佐野土木事務所				調査期間	2009-06-11 ～ 2009-06-11				東　経	139 ° 37 ' 01.0000 "
調査業者名			主任技師		現場代理人		コア鑑定者			ボーリング責任者	
孔口標高	37.00 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 15.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	7.01 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	36.10	0.90	0.90		埋土 (FI)	暗褐～茶褐			礫混り粘土主体で全体に小礫を混る 0.50mまでは暗褐で植物根や腐植物を混入する 0.50mからは砂混り粘土主体		
1					礫混り粘土 (CH-G)	茶褐～淡褐		硬い	粘性中位～やや強い 全体にφ30mm以下の角礫、風化礫を混入する粘土 1.50～1.60mはφ100mのチャート礫を混入している		
2											
	34.00	2.10	3.00								
3					風化岩 (WR)	褐灰			3.0～3.50mは風化著しく軟質化した砂岩 3.50m以深は礫状、岩片状となり、所々で粘土化している		
4											
5											
	31.40	2.60	5.60		砂岩 (Ss)	暗灰			細粒で緻密な砂岩である 全体に亀裂が発達するが、コアは5～18cmの短棒状で採取される		
6											
7	29.99	1.41	7.01								06/11 7.00

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	4	5	12／30	12
1.45					
2.15	5	8	10	23／30	23
2.45					
3.15	9	10	11	30／30	30
3.45					
4.15	18	32		50／20	>50
4.35					
5.15	50／8			50／8	>50
5.23					
6.00	50／4			50／4	>50
6.04					
7.00	50／1			50／1	>50
7.01					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						06/11